

10月から認知症高齢者等見守りシール交付事業「どこシル伝言板」が始まります。認知機能の低下により外出先から行方不明となった時に、個人情報を開示することなく早期帰宅につながるサービスです。発見者が衣服や持ち物に貼り付けられたシールの二次元コードを読み取ると、ご家族へ直接メールが自動送信されます。また専用の伝言板で保護時に必要な情報を確認でき、ご家族のお迎えまで伝言板を通じて連絡を取り合うことができます。



対象者

市内に在宅で生活する方で、

- ・ 認知機能の低下により行方不明となる恐れのある65歳以上の方
- ・ 認知症と診断された方 など

申請方法

対象者を介護している方や認知症高齢者などを支援している介護支援専門員または地域包括支援センター職員などにより事前申請が必要です

費用

無料

※ただしシールの追加発行は別途費用がかかります

シール枚数（一人あたり）

- アイロンで貼る耐洗ラベル **20枚**
- 衣類などのアイロン可のものに貼ります
- 暗闇で光る蓄光シール **10枚**
- 杖やバッグなどのアイロン不可のものに貼ります

シールを貼った人を見かけたら？

シールを貼った方がお困りの際は、正面から優しく声をかけ、スマートフォンなどで二次元コードを読み取ってください。二次元コードから伝言板サイトにアクセスすると、家族などにメールが自動送信されます。伝言板でのやりとりでは、個人情報を知らせる必要はありません。二次元コードの読み取りが難しい場合は、シールに記載されている市役所や警察に連絡してください。



**このシールに
気付いてください**



相談窓口・お問い合わせ

【福祉介護課 地域・高齢者支援係】 ☎ 0986-76-8807

“最近、物忘れが気になる”など心配や不安があったらお気軽にご相談ください。